

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	(水道)漏水調査事業	会計名称	水道特別			担当課	水道課				
		予算科目	1 款	1 項	2 目	事業番号	9904	所属長名	野島康博		
事業評価の有無	■ 評価対象事業 □ 評価対象外事業（事業の概要・結果のみ）						担当責任者名	大西孝明			
法令根拠等	水道法						実施期間	【開始】	平成 17 年度		
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造							【終了】	平成 年度(予定)		
	潤いのある水環境づくり								■ 設定なし		
総合計画における本事業の役割	潤いのある水環境づくりにおいて上水道区域内の公道下に埋設している配水管及び給水管を踏査し、発生している漏水音を発見することで漏水箇所を特定し、修繕することで有収率の向上につながる。										
事業の対象	市民（上水道加入者）					事業の目的	上水道区域内の配水管及び給水管に発生している地下漏水を発見し、早期に修繕することで無効水量を抑制し、有収率の向上を図ると共に水資源の損失を最小限に抑える。				
事業の内容（整備内容）	上水道区域内の公道下に埋設している配水管及び給水管を踏査し、発生している漏水音を発見することで漏水箇所を特定する。また、調査対象地区内の各戸の止水栓及び量水器からの漏水を発見する。					昨年度の課題に対する具体的な改善策	漏水調査の結果から、漏水が多発する路線を把握し、老朽管更新工事を推進することにより、有収率の向上を図る。				

事業活動の内容・成果 (D0)

事業費及び財源内訳（千円）							事業活動の実績（活動指標）						
項目		前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	28 年度実績	29 年度予定	9月末の実績	29 年度実績
直接事業費		10,584	11,811	0	0	0	7,236	漏水調査業務	一式	10584	11811	0	7236
財源内訳	国庫支出金		0	0	0	0	0						
	県支出金		0	0	0	0	0						
	地方債		0	0	0	0	0						
	その他	10,584	11,811	0	0	0	7,236						
	一般財源	0	0	0	0	0	0						
職員の人工（にんく）数		0.13	0.40				0.40						
1人当たりの人件費単価		8,086	8,017				8,017						
※ 直接事業費＋人件費		11,635	15,018				10,443						
主な実施主体		直接実施		実施形態（補助金・指定管理料・委託料等の記載欄）		業務委託							
向こう5年間の直接事業費の推移 （千円）						30 年度	31 年度	32 年度	33 年度	34 年度	5年間の合計		
						11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	55,000		
成果指標	指標	有収率＝年間有収水量/年間総配水量×100	単位	⇒	区分年度	28 年度	29 年度	30 年度	目標	毎 年度			
			%		目 標	94	94	94	94				
	指標設定の考え方	有収率は、配水量に対して料金として回収される水量（有収水量）を示すものである。				実 績	90.7	86.5					
											指標で表せない効果		

事務事業評価（CHECK）

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 （今年度の途中経過）		発見した漏水箇所の早期修繕に努めている。									
事業 <											

施策を踏まえた判断	二次判定	☐	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		☐	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。		
		☐	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
		☒	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。 重要な事業と判断し、行政評価委員会に諮る。		
		☐	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		☐	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		☐	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。		

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容 ・伊予地区全部が範囲であり大変だと思う。何かと苦労があると思うけれどしっかり調査いただきたい。 ・重要な仕事だと思う。入札による費用の圧縮など工夫もされており、続けてやってもらえればと思う。 ・水の確保は重要である。地味な仕事であるが、漏水の把握、古い管は集中的に更新をかけるなど、継続いただきたい。
------------	------	---

今後の方向性（ACTION）

の経営 最終者 判断議	事業の方向性	コメント欄	
	☐	さらに重点化する。	有収率を高めれば相対的に経費は落ちていくことにつながる。現状のまま少しずつ効果を上げていくこと。
	☒	現状のまま継続する。	
	☐	右記の点を見直しの上、継続する。	
	☐	事業の縮小を行う。	
	☐	事業の休止、廃止を行う。	